

日本経済のゆくえ

一橋大学名誉教授
野の口ぐち
悠ゆ紀き雄お

- * G A F Aの驚異的な時価総額の背景
- * ビッグデータの価値とは何か
- * なぜ画像認識が可能になったのか
- * トヨタの時価総額に迫るビットコイン
- * 注目すべきは研究開発費の規模
- * 低迷する日本の労働生産性の中味
- * 低労働生産性の理由は中小零細企業の多さ
- * 問題のポイントは低い資本装備率
- * 無形固定資産の格差はさらに大きい
- * 中国のデジタル人民元の狙いは何か



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

本日は、もうすっかりおなじみでございますが、野口悠紀雄先生においでいただきました。

いろいろなテーマでお話をいただきました。いろいろなテーマでいろいろな意味で皆さんのご心配になるようなことが積み重なってまいりました。そういう意味で、今日は「日本経済のゆくえ」ということで、日本の抱えている本質的な問題、これからどうなるかということについてお話をいただこうと思っております。

それでは、野口先生、よろしく願います。（拍手）

G A F Aの驚異的な時価総額の背景

野口 皆さん、こんにちは。野口悠紀雄です。

本日、経済倶楽部定例講演会でお話できる機会をいただきましたことをたいへんうれしく思っております。主催をしてくださりました経済倶楽部の皆様方に御礼申し上げたいと思えます。

今日は、これから2時10分まで、1時間10分、お話をいたします。その後、皆様方からご質問をお受けしたいと思います。

今日お話しいたします内容は、皆様のお手元にパワーポイント資料のプリントアウトをお配りしてございますが、ほぼそれに沿ってお話をいたします。

今日お話ししたいことは、主として、日本の生産性についてお話をいたします。経済の富を生み出す仕組みが変わってきている、そして、